



P コマンド

この章では、コマンド名が P で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

port-monitor activate

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタ ポリシーをアクティブにするには、**port-monitor activate** コマンドを使用します。ポートモニタ ポリシーを非アクティブにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
port-monitor activate [policy-name]
```

```
no port-monitor activate [policy-name]
```

構文の説明

policy-name (任意) ポート モニタ ポリシー。最大 32 文字の英数字です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP ポート モニタ ポリシーをアクティブ化する例を示します。

```
switch(config)# port-monitor name policy_1
switch(config-port-monitor)# port-monitor activate policy_1
switch(config)#
```

次に、ポート モニタ ポリシーを非アクティブ化する例を示します。

```
switch(config-port-monitor)# no port-monitor activate policy_1
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
counter	個々のカウンタを設定します。

port-monitor enable

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタ機能をイネーブルにするには、**port-monitor enable** コマンドを使用します。ポート モニタ機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

port-monitor enable

no port-monitor enable

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、SNMP ポート モニタ機能をイネーブルにする方法を示します。

```
switch(config)# port-monitor enable
switch(config)#
```

次の例では、SNMP ポート モニタ機能をディセーブルにする方法を示します。

```
switch(config)# no port-monitor enable
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-monitor activate	指定したポート モニタ ポリシーをアクティブ化します。

port-monitor name

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタ ポリシーを作成するには、**port-monitor name** コマンドを使用します。ポート モニタ ポリシーをクリアするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

port-monitor name *policy-name*

no port-monitor name *policy-name*

構文の説明

policy-name ポリシー名。最大 32 文字の英数字です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP ポート モニタ ポリシーを作成する例を示します。

```
switch(config)# port-monitor name PM1
switch(config-port-monitor)#
```

次に、SNMP ポート モニタ ポリシーを削除する例を示します。

```
switch(config)# no port-monitor name PM1
switch(config)
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-monitor activate	指定したポート モニタ ポリシーをアクティブ化します。

port-type

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタリングのポート タイプを設定するには、**port-type** コマンドを使用します。ポート モニタリングのポート タイプ設定をクリアするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
port-type {access-port | all | trunks}
```

```
no port-type {access-port | all | trunks}
```

構文の説明

access-port	アクセス ポートのポート モニタリングを設定します。
all	すべてのポートのポート モニタリングを設定します。
trunks	トランク ポートのポート モニタリングを設定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート モニタ コンフィギュレーション (config-port-monitor)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP ポート モニタ設定のポート タイプを設定する例を示します。

```
switch(config)# port-monitor name PM1
switch(config-port-monitor)# port-type all
switch(config-port-monitor)#
```

次に、ポート タイプ設定を削除する例を示します。

```
switch(config-port-monitor)# no port-type all
switch(config-port-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-monitor activate	指定したポート モニタ ポリシーをアクティブ化します。

power efficient-ethernet

ポートまたはポート範囲に対して Energy Efficient Ethernet (EEE) をイネーブルにするには、**power efficient-ethernet** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

power efficient-ethernet auto | sleep threshold aggressive

no power efficient-ethernet auto | sleep threshold aggressive

構文の説明

auto	EEE の自動ネゴシエーションを指定します。
sleep	EEE の低電力アイドル スリープ設定を指定します。
threshold	EEE の低電力アイドル スリープしきい値を指定します。
aggressive	EEE の低電力アイドル アグレッシブ スリープ モードを指定します。

デフォルト

no power efficient-ethernet (EEE はオフ)。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
6.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ポートまたはポート範囲に対して EEE の自動ネゴシエーションをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config-if)# power efficient-ethernet auto
ERROR: Ethernet2/1: Port is not capable of Energy Efficient Ethernet
```

次に EEE LPI しきい値アグレッシブ スリープ モードをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config-if)# power efficient-ethernet sleep threshold aggressive
ERROR: Ethernet2/1: Port is not capable of Energy Efficient Ethernet
```

関連コマンド

コマンド	説明
show module	モジュールに関する情報を表示します。

poweroff module

モジュールの電源を切断するには、**poweroff module** コマンドを使用します。モジュールの電源を再投入するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

poweroff module module

no poweroff module module

構文の説明	<i>module</i> モジュール番号。有効な範囲は 1 ~ 18 です。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、モジュール 2 の電源を切断する例を示します。 <pre>switch# poweroff module 2</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show module</td> <td>モジュールに関する情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show module	モジュールに関する情報を表示します。
コマンド	説明				
show module	モジュールに関する情報を表示します。				

power redundancy-mode

電源冗長モードを設定するには、**power redundancy-mode** コマンドを使用します。このモードをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
power redundancy-mode {combined [force] | insrc-redundant | ps-redundant [single-input] |
redundant}
```

```
no power redundancy-mode {combined [force] | insrc-redundant | ps-redundant [single-input]
| redundant}
```

構文の説明

combined	コンバインド電源モードを指定します。
force	(任意) ユーザにプロンプトを表示せずに、デバイスがコンバインドモードを選択するように強制します。
insrc-redundant	入力電源冗長モードを指定します。
ps-redundant	電源冗長モードを指定します。
single-input	(任意) 単一電源入力を指定します。
redundant	完全冗長モードを指定します。

デフォルト

ps-redundant

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

power redundancy-mode コマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイスコンテキスト) でのみ使用できます。

電源は次のモードで設定できます。

- **コンバインドモード**：このモードは電源の冗長性を提供しません。このモードで使用可能な電力は、すべての電源装置の電力の合計です。
- **入力電源冗長モード**：このモードでは2つの電気回路網を使用します。1つの回路網で各電源の半分のモジュールに電力を供給します。一方の電源回路網がダウンしても、各電源装置が残りの半分のモジュールから電力の供給を受けて動作し続けます。使用可能な電力は、2つの回路網のうち電力の少ないほうの回路網に接続された電源装置から供給される電力の合計です。
- **電源冗長モード**：このモードは、アクティブな電源がダウンしたときに備えて予備の電源装置を1台追加します。最大の電力を供給できる電源がスタンバイモードで動作します。残りの1台または2台の電源装置がアクティブになります。使用可能な電力は、アクティブな電源ユニットによって供給される電力の合計です。

- 完全冗長モード：このモードは、電源の冗長性と入力電源回路網の冗長性を組み合わせたものです。つまり、シャーシは予備の電源装置を 1 台備えており、各電源装置の半分が 1 つの電源回路網に接続され、残りの半分がもう 1 つの電源回路網に接続されます。使用可能な電力は、電源冗長モードと入力電源冗長モードのうち使用可能電力が小さいほうです。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、電源冗長モードを設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# power redundancy-mode ps-redundant
```

次に、電源冗長モードをディセーブルにする例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no power redundancy-mode ps-redundant
```

関連コマンド

コマンド	説明
show environment	システムの電力容量および配電に関する情報を表示します。
power	

ptp announce

インターフェイス上の高精度時間プロトコル (PTP) アナウンス メッセージの間隔またはインターフェイスでタイムアウトが発生する前の PTP 間隔の数を設定するには、**ptp announce** コマンドを使用します。PTP メッセージの間隔の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ptp announce {*interval seconds* | *timeout count*}

no ptp announce {*interval seconds* | *timeout count*}

構文の説明

interval	インターフェイス上の高精度時間プロトコル (PTP) アナウンス メッセージの間隔を指定します。
<i>seconds</i>	ログの秒数。指定できる範囲は 0 ~ 4 です。
timeout	タイムアウトがインターフェイスで発生する前の PTP 間隔の数を指定します。
<i>count</i>	タイムアウト カウント。指定できる範囲は 2 ~ 10 です。

デフォルト

PTP アナウンス間隔 : 1 (2 秒ごとに 1 パケット)

PTP アナウンス タイムアウト : 3

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

デバイス上でグローバルに PTP をイネーブルにし、PTP 通信の送信元 IP アドレスを設定したことを確認します。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイス上で PTP アナウンス メッセージの間隔を設定する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# ptp announce interval 1
switch(config-if)#
```

次に、PTP メッセージの間隔の設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# no ptp announce interval 1
```

```
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ptp	インターフェイスで PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
ptp delay-request minimum interval	ポートがマスター ステートの場合に PTP 遅延要求メッセージ間で許可される最小間隔を設定します。
ptp sync interval	インターフェイス上の PTP 同期メッセージの送信間隔を設定します。
ptp vlan vlan	インターフェイス上で PTP VLAN 値を設定します。

ptp delay-request minimum interval

ポートがマスター ステートの場合に、高精度時間プロトコル (PTP) 遅延要求メッセージ間で許可される最小間隔を設定するには、**ptp delay-request minimum interval** コマンドを使用します。PTP 遅延要求メッセージの最小間隔の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ptp delay-request minimum interval *seconds*

no ptp delay-request minimum interval *seconds*

構文の説明	<i>seconds</i>	ログの秒数。指定できる範囲は -1 ~ 6 です。
デフォルト	2	(4 秒ごとに 1 パケット)。
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

デバイス上でグローバルに PTP をイネーブルにし、PTP 通信の送信元 IP アドレスを設定したことを確認します。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP 遅延要求メッセージ間で許可される最小間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# ptp delay-request minimum interval 3
switch(config-if)#
```

次に、PTP 遅延要求メッセージの最小間隔の設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# no ptp delay-request minimum interval 3
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ptp	インターフェイスで PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
ptp announce	インターフェイス上の PTP アナウンス メッセージ間の間隔またはタイムアウトがインターフェイスで発生する前の PTP 間隔の数を設定します。
ptp sync interval	インターフェイス上の PTP 同期メッセージの送信間隔を設定します。
ptp vlan vlan	インターフェイス上で PTP VLAN 値を設定します。

ptp domain

高精度時間プロトコル（PTP）クロックのドメイン番号を設定するには、**ptp domain** コマンドを使用します。PTP クロックのドメイン設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ptp domain *domain_number*

no ptp domain *domain_number*

構文の説明

domain_number ドメイン番号。指定できる範囲は 0 ～ 28 です。

デフォルト

0

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP クロックのドメイン番号を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ptp domain 6
switch(config)#
```

次に、PTP ドメインの設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# no ptp domain 6
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature ptp	デバイス上で PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
ptp source	すべての PTP パケットのソース IP アドレスを設定します。
ptp priority1	このクロックをアダプタイズするときに使用する priority1 の値を設定します。
ptp priority2	このクロックをアダプタイズするときに使用する priority2 の値を設定します。
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。

ptp priority1

高精度時間プロトコル (PTP) クロックをアドバタイズときの **priority1** の値を設定するには、**ptp priority1** コマンドを使用します。**priority1** の値を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ptp priority1 *priority-number*

no ptp priority1 *priority-number*

構文の説明	<i>priority-number</i>	プライオリティ番号。有効な範囲は 0 ~ 255 です。
デフォルト	255	
コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション (config)	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、PTP クロックをアドバタイズするときの priority1 の値を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# ptp priority1 10</pre> 次に、PTP クロックをアドバタイズするときの priority1 の値を削除する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# no ptp priority1 10</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	feature ptp	デバイス上で PTP をイネーブ爾またはディセーブ爾にします。
	ptp source	すべての PTP パケットのソース IP アドレスを設定します。
	ptp domain	このクロックで使用するドメイン番号を設定します。
	ptp priority2	このクロックをアドバタイズするときに使用する priority2 の値を設定します。
	show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
	show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。

ptp priority2

高精度時間プロトコル (PTP) クロックをアダプタイズときの **priority2** の値を設定するには、**ptp priority2** コマンドを使用します。PTP をアダプタイズするときの **priority2** の値を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ptp priority2 priority-number
```

```
no ptp priority2 priority-number
```

構文の説明	<i>priority-number</i>	プライオリティ番号。有効な範囲は 0 ~ 255 です。
-------	------------------------	------------------------------

デフォルト	255
-------	-----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション (config)
---------	----------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
------------	-----------------------

例 次に、PTP クロックをアダプタイズするときの **priority2** の値を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ptp priority2 1
```

次に、PTP クロックをアダプタイズするときに使用する **priority2** の値の設定を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no ptp priority2 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature ptp	デバイス上で PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
	ptp source	すべての PTP パケットのソース IP アドレスを設定します。
	ptp domain	このクロックで使用するドメイン番号を設定します。
	ptp priority1	このクロックをアダプタイズするときに使用する priority1 の値を設定します。
	show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
	show ptp clock	ローカル クロックのプロパティを表示します。

ptp source

すべての高精度時間プロトコル (PTP) パケットのグローバルな送信元を設定するには、**ptp source** コマンドを使用します。PTP パケットのグローバルな送信元を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ptp source ip_address [vrf vrf-id]
no ptp source ip_address [vrf vrf-id]
```

構文の説明	ip_address	送信元の IPv4 アドレス。
	vrf	hello メッセージに使用する VRF を指定します。
	vrf-id	VRF ID を指定します。

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (送信元)

サポートされるユーザーロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	6.1(1)	vrf オプションは、Cisco NX-OS 6.1(1) リリースで廃止されました。
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、すべての PTP パケットのグローバルな送信元を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ptp source 10.1.1.1
switch(config)#
```

次に、すべての PTP パケットのグローバル送信元の設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# no ptp source 10.1.1.1
switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature ptp	デバイス上で PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
	ptp domain	このクロックで使用するドメイン番号を設定します。
	ptp priority1	このクロックをアドバタイズするときに使用する priority1 の値を設定します。

コマンド	説明
ptp priority2	このクロックをアドバタイズするときに使用する priority2 の値を設定します。
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。

ptp sync interval

インターフェイスの高精度時間プロトコル (PTP) の同期メッセージの間隔を設定するには、**ptp sync interval** コマンドを使用します。PTP メッセージの同期の間隔設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ptp sync interval *seconds*

no ptp sync interval *seconds*

構文の説明	<i>seconds</i>	ログの秒数。有効な範囲は -1 ~ 2 です。
デフォルト	2 (4 秒ごとに 1 パケット)	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

デバイス上でグローバルに PTP をイネーブルにし、PTP 通信の送信元 IP アドレスを設定したことを確認します。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイス上で PTP 同期メッセージの間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# ptp sync interval 1
switch(config-if)#
```

次に、PTP メッセージ同期の間隔の設定を削除する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 5/1
switch(config-if)# no ptp sync interval 1
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ptp	インターフェイスで PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
ptp announce	インターフェイス上の PTP アナウンス メッセージ間の間隔またはタイムアウトがインターフェイスで発生する前の PTP 間隔の数を設定します。
ptp delay-request minimum interval	ポートがマスター ステートの場合に PTP 遅延要求メッセージ間で許可される最小間隔を設定します。
ptp vlan vlan	インターフェイス上で PTP VLAN 値を設定します。

ptp vlan

インターフェイスの高精度時間プロトコル (PTP) の VLAN 値を設定するには、**ptp vlan** コマンドを使用します。インターフェイスから PTP VLAN 値を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ptp vlan vlan-number
```

```
no ptp vlan vlan-number
```

構文の説明	<i>vlan-number</i>	VLAN 番号。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
デフォルト	1	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

デバイス上でグローバルに PTP をイネーブルにし、PTP 通信の送信元 IP アドレスを設定したことを確認します。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイス上で PTP VLAN 値を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# ptp vlan 9
switch(config-if)#
```

次に、インターフェイスから PTP VLAN 値を削除する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# no ptp vlan 9
```

関連コマンド

コマンド	説明
ptp	インターフェイスで PTP をイネーブルまたはディセーブルにします。
ptp announce	インターフェイス上の PTP アナウンス メッセージ間の間隔またはタイムアウトがインターフェイスで発生する前の PTP 間隔の数を設定します。
ptp delay-request minimum interval	ポートがマスター ステートの場合に PTP 遅延要求メッセージ間で許可される最小間隔を設定します。
ptp sync interval	インターフェイス上の PTP 同期メッセージの送信間隔を設定します。